

第5回農地中間管理事業評価委員会評価・意見

1. 開催日時 平成29年6月21日(水) 午前10時30分
2. 開催場所 長野市南長野北石堂町1177-3
JA長野県ビル12階 12E会議室

3. 出席評価委員等

(1) 農地中間管理事業評価委員会委員出席者5名

東方久男、丸山孝一、市川覚、大久保泰秀

(2) 出席理事 中村倫一

4. 会議次第及び委員会概要

(1) 開会

事務局長

定刻になりましたので、ただ今から第5回農地中間管理事業評価委員会を開会させていただきます。事務局長の小林でございます。議長選出までの間進行を務めさせていただきます。会議次第に基づき議長選出までの間進行を務めさせていただきます。よろしくお願ひします。

なお、当委員会はお配りしてあります「公益財団法人長野県農業開発公社農地中間管理事業評価委員会運営要領」により運営させていただきます。

本日の出席者は別添の「出席者名簿」のとおりでございます。評価委員に異動がございましたので、委員の皆さんをご紹介します。東方委員さん、丸山委員さん、市川委員さん、大久保委員さん、本日は欠席されております柳平委員さんです。よろしくお願ひいたします。それでは会議次第に基づき、中村理事長からあいさつを申し上げます。

(2) あいさつ

理事長

委員の皆様には、ご多忙な中をご出席いただき有難うございます。また、県農村振興課からもご出席いただき感謝いたします。

本日は、第4回まで委員長をお努めいただいた佐々木先生が居住拠点を新潟県に移されたため、本委員会の委員を退任されましたほか、団体人事により退任された委員さんがあるため、本日第5回の評価委員会から、新たな委員をお迎えして、当機構の事業推進等に対するご指導・ご助言をいただくことになりました。どうぞよろしくお願ひします。

本日は、本県及び全国の平成28年度の最終実績についてご報告するとともに、第4回評価委員会でもいただいたご指摘・ご意見を踏まえた平成29年度の事業推進について説明させていただき、委員の皆様からご意見をいただきたいと考えております。

資料につきましては、過日前送したところでございますが、後程、説明をさせていただきます。

さて、平成 28 年度の実績につきましては、前年度に比べて、実施市町村数は増加したものの、集積面積はかなり大幅にショートする結果となりました。

その主な要因は、①顕在化した事業ニーズの減少、②国の農地集積協力金の単価水準の大幅な引き下げ、③類似制度への事業ニーズの還流などでございます。

さて、全国の実績も総じてかなり落ち込んでおり、関東農政局管内では、長野県や茨城県など、大きく減速している県と大規模な農地基盤整備事業の実施等を併せて実績を確保した県とに分かれました。

国は、こうした状況を踏まえ、6月9日に閣議決定された「規制改革実施計画」に基づいて、制度の改善に向けた法施行 5 年後見直し等に着手した所であり、その柱は、農業委員会と連動した事業推進体制の強化、改正土地改良法を踏まえた基盤整備事業との強化、類似制度の取扱いの整理等となるものと見られます。

また、農林水産省から当機構に対しては、平成 29 年度中に農地利用最適化推進委員との連携を強化しつつ集積実績を V 字回復すべく対処せよ、との示唆が再三されております。

当機構としましては、速やかに実績回復措置を講じる必要があることから、第 4 回でいただいた意見等を踏まえ、新たに期間 3 年の権利設定を可能とする事業規程の運用を行うなど、この後ご説明する措置・取組みを始めたところでございます。

本日は委員の皆様から、これからの取組みがより実効のあるものとなるよう、幅広い視点から忌憚のないご意見・ご提言をいただきたいと考えております。

どうぞよろしく申し上げます。

(3) 委員長選出

事務局長

理事長のあいさつでもありましたが、前回まで委員長さんをお願いしておりました佐々木委員長さんが、退任されましたので、今回新たに、委員長さんを選出することになります。

事務局としては東方委員さんをお願いをしたいと思います。委員の皆様いかがでしょうか。

委員から異議なしの声

事務局長

異議なしということでございますので、東方委員さんに委員長をお願い致します。

委員長

就任あいさつ

(4) 議長選出

事務局長

続いて議長選出でございますが、「運営要領」により委員長が議長となるとなっております。東方委員長さんに議長に就任いただきます。

東方委員長さんよろしく申し上げます。

(5) 平成 28 年度農地中間管理事業関係について

議長

それでは、要領に基づきまして暫く議長を務めさせていただきます。会議がスムーズに進行できますよう委員の皆様のご協力をお願いします。よろしく申し上げます。

では、会議次第 4 の「平成 28 年度の事業実施状況について」を説明願います。

農地中間管理部長

資料により説明

総務参与

資料により説明

議長

ただ今の説明について、何かご質問はございますか。

特になし

(6) 平成 29 年度の事業推進状況について

議長

次に 5 の平成 29 年度事業推進について説明をお願いします。

農地中間管理部長

資料により説明

議長

ただ今の説明について何かご質問はございますか。

前回の委員さんからの意見についてまとめられたようですが、委員さんからご質問

があればお願いします。

委員

この事業を進めるに当たり、農地の借入を断っているケースがありますか。

農地中間管理部長

「申出書」を市町村に提出していただくときには、断るケースはないと思います。契約手続きに入る中で、借入基準に該当しない場合は、断るケースがあると思いますが、どの程度あるかは、集計できていません。今後分析が必要であり、申出者に連絡をする必要があると考えます。

(7) 平成 29 年度農地中間管理事業の取組に向けた意見について

議長

次に6の「平成 29 年度農地中間管理事業の取組に向けた意見について」ですが、各委員さんから中間事業取組に対するご意見あるいはご提案をいただきたいと思えます。

委員の皆さんよろしくお願いします。

委員

円滑化事業がある以上中間管理事業の取組みは難しい。

JA の円滑化事業を中間管理事業に移行する説明が必要

円滑化事業は短期間で手続きが済むが、中間管理事業は、6 か月もかかるので、処理期間の短縮を希望する。

3 年の中間管理権の設定はありがたい。円滑化事業から農地中間管理事業へ移行する気になると思う。

権利の設定期間が長い(5 年から 10 年)ので買って欲しくないかという希望があるが、所有権移転は県がだめと言っている。担い手への集積が目的の事業なので、所有権移転もできるように改善するよう要望する。

PR について、新聞・ラジオでは農家はよく理解できない。

現に担い手がこけても次の人は居ると言う機構の強み等、円滑化事業と機構事業の違いを示す必要がある。

委員

地元では、JA の仕切りで円滑化事業か農地中間管理事業にするか決めている。

農地を売りたい人も多い、その場合、相対等単なる利用権ならいいが、農地中間管理事業だと 10 年未満になり、補助金(協力金)を返すことになる。

500ha のうち 3 分の 2 は円滑化事業でやっているのが現状。

売買もいいなら中間管理事業に移行できる。ここが中間事業の伸びない原因と思う。

農地中間管理部長

売買については、中間管理事業を合意解約して、公社が買い入れている事例があ

ります。協力金は問題があるが、手続き上は可能と考えています。

JA等に巡回しながら中間管理事業のお願いをしていますが、正直、団体により相当の温度差がありますので、今後も継続的にお願いしていきたいと思ひます。

事務手続きの簡素化は鋭意進めております。中間管理事業システムを使っている所は、入力すると紙出力される方式になっていますので、一部の過去様式を利用している所には変更していただくようお願いしています。

契約までの期間が半年になると言うことですが、迅速化を図っており、利用集積計画と使用配分計画の期間は1か月あれば可能となってきておりますが、引き続き時短に努めたいと考えております。

PRについては、特に年配の方に対するPRは難しいと思ひます。また、現場のJA担当者等へのPRも検討したいと考えております

3年の設定でも地域集積協力金の対象になっております。

理事長

機構集積協力金については、平成27年度ベースから要件変更となっております。協力金は使いたければ使ってもらえれば良いので、財産権の移動を妨げるものではありません。

議長

いろいろなご意見ありがとうございました。今まで出された意見をまとめたいと思ひますので、皆様にお諮りしたいと思ひます。

- ①第4回農地中間管理事業評価委員会の意見等の対応について」(別紙2)の対応を引き続き実施する
- ②設定期間3年も始まったが、各方面に働きかけて、実行に移す
- ③制度についてもっとPRをしていただきたい。特にJAや関係団体に積極的に働きかける
- ④国の「規制改革実施計画」に定められたので、もっとPRする
- ⑤人・農地プランの具体化は、現場に立った取り組みをする必要がある
- ⑥市町村レベルに落とし込むには、農地利用最適化推進委員等の力を借りて推進する
- ⑦農地中間管理業務システムについては、一步一步改善する

このようにまとめさせていただきましたが、いかがでしょうか。

特に異議なし

議長

以上委員会として意見とさせていただきます。

ほかに何かございますか。

特になし

議長

ないようですので、これで議長を退任させていただきます。ご協力ありがとうございました。

小林事務局長

東方委員長さんにはスムーズな議事進行ありがとうございました。
中村理事長からお礼のあいさつを申し上げます。

中村理事長

あいさつ

(8) 閉会

小林事務局長

これもちまして、第5回農地中間管理事業評価委員会を閉会とします。